

『ホラー』 作…ポチ子

彼氏 「ねえ、一緒にお風呂入ろ。」

彼女 「いやだ。」

彼氏 「ねええ、お願いだから、一緒に入ろうよおお。」

彼氏、彼女に縋り付いて泣く。

彼女 「嫌だって言ってるでしょ。なんで狭い風呂に二人で入らなきゃいけないのよ。」

彼氏 「早紀ちゃんがホラー映画なんか見せるからいけないんだよ！怖くて入れないじゃん！」

彼女 「20歳超えたいいい男が、ホラー映画見たくらいで風呂入れないなんて言わないでよ。さすがにきついです。」

彼氏 「だって、血まみれの女の人が出てきて、わあ！って襲われたらどうするの。」

彼女 「出てこない。」

彼氏 「心の中でキャサリンって唱えると出てきちゃうんだよ！？」

彼女 「そんなの唱えなきゃいいでしょ。」

彼氏 「唱えちゃいけないと思うと、余計頭に出てきちゃってダ

メなの！ねえ、一緒に入ろうよおお。」

彼女 「もう、しつこいなあ。い・や・だ。」

彼氏 「それじゃあ、せめてお風呂の扉の近くにいて！」

彼女 「この部屋ワンルームなんだから、ここにいても扉の前で

も大した差ないでしょ。」

彼氏 「あるよ！安心感が全然違う。それに襲われたら、すぐに

助けてもらえるし。」

彼女 「なんで私が助けなきゃいけないのよ。あんた、男でしょ。

お化けの女くらい自分で倒しなさいよ。」

彼氏 「お化けの前では、男も女も無力です。」

彼女 「はぁ・・・入らないなら、私が先に入るから。」

彼氏 「ちよっ！ちよっ！と待って！」

彼女 「なに？」

彼氏 「今、早紀ちゃんが風呂に入ったら、僕部屋で一人？」

彼女 「当たり前でしょ。」

彼氏 「ちよっと思ひ直して！何でもするから、何でもするから

一人にしないで！」

彼女 「もう、うるさい！離して！」

彼氏 「嫌だ、絶対に離さない！！」